

## 概要：

製品分野毎に異なるセキュリティ要件やレベル持つIoT機器が、つながる機器 = システムとして捉え検討する必要がある。そこで、分野横断的な視点で「つながる機器として最低限の共通要件(Minimum requirements)を定義し、一定のセキュリティ（安全性）を確保するために必要（十分）な脆弱性検証方法を策定する。なお、「IoT脆弱性共通要件」が提示されており、検討メンバーを中心に幅広くメーカーへの浸透を図ることを目標とする。

## 活動内容：

- 1) 分野をまたがる最低限の要件を定義、更新を行う
- 2) 必要要件をチェックする手法を定義、更新を行う
- 3) 分野別のレベル2以降のサーティフィケーションスキームを定義する

## 本年度ゴール：

- 1)、2) について次年度の要件、チェック手法の更新を行う。
- 分野別のレベル2以降のサーティフィケーションスキームについて検討を行う。

## 参加者：

主査：伊藤（CCDS/JVCケンウッド）、副査：田久保（CCDS/マストトップ）  
メンバー：オムロンソーシアルソリューション、JVCケンウッド、積水ハウス、日立オムロン  
（自社で共通鵜認証マーク採用予定を持つ企業：機器メーカー、サービスメーカー及びマストトップ（総務省：認証スキーム調査検討受託会社）